

「嘆くな、組織化せよ！」

ー組織方法としてのアナキズム

そもそもアナキーとは「無秩序」ではなく、支配者のいない、統治者のいない、という意味である。リーダーのいない、ヒエラルキーのない秩序が、まずアナキーの意味だ。だからそれは、エライ人間に命令されて動くのではない、組織方法のことなのである。だから、それは自由で平等な「集団」の思想なのである。世界が破局スレスレで大転換期を迎えているいま、人類はこの世界を根底からアナキーに組織化する以外に、生き延びる方法はないのかもしれない。少し話は大きくなったが、ここでは、そんなアナキーな組織法を身近なところから考えていきたい。

日時：2026年 **7**月 **25**日(土)
14:30～(開場13:30)

場所：明治大学 和泉キャンパス
和泉図書館ホール

講師 酒井 隆史 氏：立命館大学教授

専門は社会思想、都市史。著書に『スネーク・ピープル—ジグザグデモ、あるいは戦術の系譜』洛北出版、『賢人と奴隷とバカ』亜紀書房、『[決定版] 通天閣—新・日本資本主義発達史』(ちくま文庫)、『暴力の哲学』『[完全版] 自由論—現在性の系譜学』(ともに河出文庫) など。訳書にデヴィッド・グレーバー、デヴィッド・ウエングロウ『万物の黎明—人類史を根本から覆す』光文社、ピエール・クラストル『国家をもたぬよう社会は努めてきた』洛北出版、グレーバー『啓蒙の海賊たち』岩波書店、『負債論』(共訳)、『官僚制のユートピア』以文社、マイク・デイヴィス『スラムの惑星—都市貧困のグローバル化』(共訳、明石書店) などがある。

コーディネーター：岩野卓司
教養デザイン研究科・法学部教授

ディスカッサント：丸川哲史(教養デザイン研究科・政治経済学部教授)
佐久間寛(教養デザイン研究科・政治経済学部准教授)